

(様式3)

令和3年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	伊勢市生涯学習センター	所在地	伊勢市黒瀬町562-12
指定管理者名	特定非営利活動法人 まなびの広場	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
設置目的	市民の生涯にわたり学習を促進し、市民文化の充実振興を資するため		
業務内容	・各施設の貸し出し業務 ・センター講座の開講 ・各種イベント実施(公開講座、子ども向けのイベント、生涯学習フェスティバル等)		
施設概要	敷地面積:40788㎡コンクリート一部鉄骨造り3階建て、多目的ホール、会議室等		
職員体制	センター長1名、センター長補佐1名、職員6名、パート2名、理事1名		
施設所管課名	社会教育課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較(C-B)
事業 収支	収入				
	指定管理料	76,027,500	76,725,000	76,725,000	0
	利用料金	20,511,170	11,807,262	21,605,330	9,798,068
	その他	111,673	169,552	11,409	△ 158,143
	計(a)	96,650,343	88,701,814	98,341,739	9,639,925
	支出				
	人件費	33,650,418	34,069,414	34,286,758	217,344
	管理運営費	63,533,196	57,521,210	61,999,274	4,478,064
	その他	2,816,284	2,096,500	2,409,862	313,362
	計(b)	99,999,898	93,687,124	98,695,894	5,008,770
収支差引額(a)-(b)		△ 3,349,555	△ 4,985,310	△ 354,155	4,631,155

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	【収入】 新型コロナウイルスワクチンの接種会場となり、利用料金収入が増額。 【支出】 人件費:ベースアップによる支出増。 管理運営費:新型コロナウイルス感染症の影響が減少したことにより、施設利用の光熱費が支出増。
----------------------------------	--

3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大およびワクチン接種会場となった影響で、計画していた事業が一部中止となった。 非常事態宣言下の9月に貸館業務が停止となったが、昨年度の経験を活かし、迅速に利用者に伝えることができた。 コロナ禍でも子ども向けのイベント等は運営方法を工夫し夏と冬に開催できた。 公開講座においても三重県と連携し、オンラインで講演会を実施した。 センター講座においては、ほぼ目標の講座を開講することができた。	施設の管理運営については適正に行われていた。新型コロナウイルス感染拡大の影響が残るものの、昨年度の経験を活かし、工夫することで、ほぼ目標の講座を開講できたことは評価できる。 また、指定避難所としての施設の役割を認識し、非常時に対する利用者及び地域住民の安全に配慮した取り組みがなされている。今後も引き続き、効率的、効果的な管理運営に努め、各協力団体や行政との連携を密に図りながら、より質の高いサービスを提供できるよう期待したい。

指定管理業務の項目別評価表

施設名

伊勢市生涯学習センター

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設設置目的に基づき、まなびの場・交流の場を提供できるように管理運営に努めた。	A	施設の目的や基本方針については、事業計画書においても十分理解し運営されていた。
	②施設設置目的の達成度	A	管理運営を通して、施設の目的である「学び、集い、交流し、楽しむ生涯学習の推進」に努めた。	A	施設の管理運営状況から施設の目的は達成できた。
	③利用者数	B	新型コロナ感染予防のため、利用団体減により、目標には至らなかった。	B	不可抗力要因による利用団体の減少はやむを得ない。オンラインでの公開講座の開催や申込制を採用するなど感染症対策への工夫が見られた。
	④運営状況	A	緊急事態宣言下の利用停止期間以外は事業計画書のとおり供用日数・時間帯を守り、施設運営に努めた。	A	一時期、コロナ感染拡大防止対策による制限がある中、おおよそ事業計画書に基づいた運営が行われた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	作業責任者・業務担当者を明確にして、適正な配置・勤務実績により、適切な業務遂行ができた。	A	職員配置計画に基づき、効率化を図りながら業務が遂行されていた。
	⑥意思疎通	A	事業計画書に示した業務および管理運営に関する諸事象について、必要に応じ、社会教育課と指定管理者の責任者との間で、適切な連絡調整を行った。	A	適宜、状況に応じた連絡調整が行われていた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	各種業務計画書・点検記録・整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がされていた。
	⑧地域の振興	A	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図られていたか。	A	新型コロナ感染予防のため、イベントの実施が危ぶまれている中、工夫しつつ地域の振興への取り組みが行われていた。
	⑨使用許可等	A	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	使用許可等申請の取扱いは個人情報の点からも適正、慎重に行った。
	⑩利用料金等の徴収状況	A	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	各種の帳簿等は漏れなく適正に作成し、厳重管理に努めた。
	⑪個人情報	A	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報の取扱いについては、全職員の研修で学び、日々の事務処理等、適正な取扱いに努めた。
	⑫法令遵守	A	関係法令を遵守していたか。	A	社会教育法および伊勢市の関連条例等(伊勢市生涯学習センター条例等)について研修で学ぶと共に各種法令の順守に努めた。

指定管理業務の項目別評価表

施設名

伊勢市生涯学習センター

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	絵画室前の壁面に壁面展示用の照明スイッチを新たに設置した。LINEPayを導入し、キャッシュレス決済にも対応した。	A	利用者への利便性向上や増加に向けた取り組みが積極的に行われていた。
	②利用者の平等な利用	A	サービスの水準の確保および向上のための研修を重ねるとともに、日々の窓口対応等で、職員間の研鑽を重ねた。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	A	館内の情報コーナーに月ごとのイベント情報を提供した。(多目的ホール・ふれあい広場)	A	ホームページや広報いせなどを活用し、適切な情報提供がされていた。
	④非常時・緊急時の対応	A	マニュアルの整備に努め、エレベーター救出の実施訓練等も重ね、緊急時、全職員が適切に対応できるように務めた。想定外の事象についても対応できる力をつけることを目指している。	A	緊急時のマニュアルを整備し、避難訓練も実施されている。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	意見や苦情に対しては、迅速に対応されていた。
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	アンケートなどで利用者のニーズを探り、新規講座の開講など、自主事業に積極的に取り組んでいる。
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	指定管理者側での確認、見直しが行われている。また、伊勢市と情報交換し、連携を図りながら各種事業に取り組んだ。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	定期的に施設の安全点検、昨日確認、美観確認を行い、必要に応じて保持に努めた。特に新型コロナウイルス感染防止のため利用後には消毒等を徹底した。	A	定期的な点検、確認が行われており、記録もなされている。
	②備品等の管理	A	設備、諸備品について丁寧な扱いを心掛け、点検・保守については、業者とも連携し、適切に行った。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。
	③修繕業務	A	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	対応は適正であり、伊勢市への報告も迅速であった。
	④清掃業務	A	日常清掃で館内外の美化、休館日等には、特別清掃より、施設の美化に努めることができた。	A	予定通りの清掃が行われた。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵の管理は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。